

平成 29 年度 第 14 回修道館杯争奪中学生柔道大会 —大会要項—

1 目 的

この大会は、武道を通じて中学生の健全育成と競技力の向上を目的とし、また、回を重ねることで武道の振興と発展を企図する。

2 日 時

平成 30 年 3 月 18 日（日） 午前 10 時 00 分 開会式

開場 午前 8 時 30 分 受付 8 時 30 分～9 時 00 分

3 場 所

大阪市立修道館

4 主 催

大阪市立修道館、(公財)大阪武道振興協会

5 主 管

大阪中学校体育連盟柔道専門部

6 後 援

大阪市・大阪市教育委員会、大阪府教育委員会、大阪府柔道連盟

7 競技種目

男子 5 名（登録 7 名）、女子 3 名（登録 4 名）で編成されたチームによる「点取り方式」の男女別団体戦。

8 参加資格

- ・大阪中学校体育連盟に加盟している学校で、学校単位で編成されたチームおよび修道館の練習生で編成されたチーム。
- ・各校の出場は、男女ともに 1 チームとする。
- ・参加選手は、現中学 1・2 年生とし、原則として当該の年齢であること。
(それ以外は事前に申し出ること)。
- ・責任者は、参加選手全員について学校長の承認を必ず得ること。

9 主な競技・規定等

- ・男女別 3 ～ 4 校でリーグ戦を行いリーグ 1 位のチーム同士で決勝トーナメントを行う。
(参加校多数の場合は試合方法を変える事もある)
- ・主催、主管でシード校を設定する。
- ・国際柔道連盟試合審判規定「少年大会特別規定」(2018 年 1 月 1 日現在新ルール適応)並びに、本大会申し合わせ事項に基づいて行う。
- ・試合時間は 3 分間
- ・判定基準は、「技有」又は「僅差」以上とする。※「僅差」は指導差 2 とする。
- ・勝敗が同数の場合は、内容によってチームの勝敗を決定する。
- ・予選リーグ・内容が同等の場合は、代表戦を任意に選出して代表戦を行う。
- ・リーグ戦におけるチームの勝敗は次による。

- a. 勝ち数の多いチームを勝ちとする。
- b. a で同等の場合は、「一本」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。
- c. b で同等の場合は、「技有」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。
- d. c で同等の場合は、「僅差」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。
- e. d で同等の場合は、引き分けとする。
- ・決勝トーナメント・内容が同等の場合は、代表戦を任意に選出して代表戦を行う。
- ・代表戦において優劣が付かない場合は、同選手によるゴールデンスコア方式（無制限）を導入する。
- ・代表戦の判定基準は「技有」又は「僅差」以上とする。
※「僅差」は指導差1以上とする。
- ・抑え込みの時間は「一本」20秒、「技有」10秒以上～20秒未満とする。
- ・チーム編成は体重順とし、体重の最も重い者を大将とする。補欠選手を出場させる場合も体重順とするが、一度退いた選手は再び出場できない。
- ・柔道衣には必ずゼッケンを縫いつけて出場すること。
- ・女子のTシャツは、白色・無地（ワンポイント可）・丸首であること。
- ・その他詳細については、主催と主管の話合いにて決定する。

10 計 量

- ・計量は実施しないが、適正な体重順でオーダーを組むこと。

11 表 彰

- ・優勝校に賞状と優勝カップとメダルを、準優勝・3位の学校に賞状とメダルを贈る。

12 申し込み

(1) 申込み期限 平成30年2月23日（金） ※期日後の申し込みは一切受け付けない。

(2) 申込み方法

- イ. 申込用紙を修道館ホームページ <http://www.osaka-sp.jp/syudoukan/> から下記の要領でダウンロードする。

1：画面のメニュー『行事予定』をクリック

2：画面のメニューに出てきた『修道館杯・錬成大会』をクリック

3：画面の『修道館杯争奪中学生柔道大会・申込用紙』をクリックしダウンロードする

ロ. 必要事項を入力する。

ハ. 添付ファイルで syudoukan-judo@shinko-sports.com に送付する。

※メールの件名（タイトル）に

「第14回修道館杯争奪中学生柔道大会申込書の送付（学校名）」を必ず入れること。

ニ. 修道館からの返信メールがきたら受付完了。

※申込み後、一週間たっても返信メールがない場合は、電話で問い合わせてください。

(3) 問い合わせ先

大阪市立修道館 日高 政信 TEL 06 - 6941 - 1523

1 3 抽 選 会

大阪市立修道館職員と大阪中学校体育連盟柔道部専門委員とで厳正におこなう。

1 4 外部指導者

- ・本大会について、監督については学校に所属する教職員でなくともよく、外部指導者としての登録を必要としない。
- ・外部指導者が引率する場合は不測の事態に備え必ず事前に学校と連絡をとっておくこと。
- ・審判員確保の為、外部指導者の方に審判を依頼することがありますので公認審判員に準じた服装でお越しください。

1 5 そ の 他

- ・皮膚真菌症（トングランス感染症）に感染している者は、感染予防の観点から大会への出場ができない場合があります。
- ・監督は（外部指導者）成人で、必ず試合に付き添う。
- ・出場校には、必ず引率者が付き、受付をすること。
- ・引率、受付なき場合は失格とする。
- ・大会の開始時間に遅れた場合は失格とする。
- ・大会中の傷害については応急処置のみおこなうが、その後は各学校で対処する。
(事前に任意でスポーツ傷害保険に加入するか、練習試合等と同じ扱いにして、学校安全会で対処するか)
- ・大阪市立修道館へは、必ず公共の交通機関をご利用下さい。
- ・靴袋を必ず用意すること。

1 6 脳しんとうの対応について

- (1) 大会 1 か月以内に脳しんとうを受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
- (2) 大会中、脳しんとうを受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可能とする。(なお、至急、専門医（脳神経外科）の精査を受けること。)
- (3) 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。